

二人称指示における日中韓の対照分析

Contrastive Analysis of the Second-person Demonstrative System
among Japanese, Chinese, and Korean金井 勇人ⁱ・蔡 梅花ⁱⁱ・新城 直樹ⁱⁱⁱ

KANAI Hayato, CAI Meihua, and ARASHIRO Naoki

(要旨)

日本語において二人称（聞き手）を指す方法は、その指示方法の違い（直示的か記述的か／直接的か間接的か）によって、①二人称名詞（あなた・きみ・おまえ...）によるもの、②指示詞（そちら...）によるもの、③固有名詞（山田さん・花子ちゃん・太郎くん...）によるもの、④普通名詞（お父さん・課長・先生...）によるもの、⑤非明示（ φ ）という5つのタイプに分けられる。そしてこれらの各タイプは、聞き手に対する失礼さ（*impoliteness*）の性質と程度を異にする。本稿はこの分類に基づいて、日本語と他言語（中国語・韓国語）の二人称指示における共通点と相違点を明らかにすることを旨とする。

キーワード：二人称指示，日中韓の対照分析，失礼さ（*impoliteness*），直接的／間接的，直示的／記述的

1. はじめに

日本語において二人称（聞き手）を指す方法は、その指示方法の違い（直示的か記述的か／直接的か間接的か）により、①二人称名詞（あなた・きみ・おまえ...）によるもの、②指示詞（そちら...）によるもの、③固有名詞（山田さん・花子ちゃん・太郎くん...）によるもの、④普通名詞（お父さん・課長・先生...）によるもの、⑤非明示（ φ ）という5つのタイプに分けられる。これらの各タイプは、二人称（聞き手）に対する失礼さ（*impoliteness*）の性質と程度を異にする。本稿はこの分類に基づいて、日本語と他言語（中国語・韓国語）の二人称指示における共通点と相違点を明らかにすることを旨とする。

2. 先行研究（日本語における二人称指示）

金井（2002）は、日本語における二人称指示を、二人称（聞き手）に対する失礼さという観点から、以下の5つのタイプに分類している。本稿の議論の前提として、まずこれを概観する。

2-1 二人称名詞（直示的／直接的）

「あなた・きみ・おまえ」などの二人称名詞（本稿では「あなた」を代表として扱う）によって聞き手を指すことは「直示」である。直示とは「談話に先立って、言語外世界にあらかじめ存在すると話し手が認める対象を直接指し示し、言語的文脈に取り込むこと（金水1999:68）」と定義される。

- (1) それはあきらかに影村の訊問であった。加藤を或る種の容疑のもとに取調べようとしている刑事の態度にも見えた。加藤は自分の顔のほてっていくのを感じていた。いかりが顔に出て来たのである。

ⁱ 埼玉大学 人文社会科学部 教授

ⁱⁱ 秀林外語専門学校 日本語ビジネスコース 専任講師，埼玉大学 日本語教育センター 非常勤講師

ⁱⁱⁱ 琉球大学 グローバル教育支援機構 専任講師

「いったい、あなたはなぜ私にそんなことを訊ねるんです」

「あなただと?」

影村はむっとしたような顔でいった。先生といわずにあなたといったことが影村には不愉快に思えたにちがいない。(孤高の人)

二人称名詞「あなた」の指示内容は、指示行為によって初めて決定される。すなわち、眼前にいる聞き手を「あなた」に対応づけるわけである。丁寧さの観点から問題となり得るのは、その対応づけは聞き手に相談なく、話し手の都合で勝手に行われる、ということである。そのため、人を直示することは(特に指示対象が上位者であれば)失礼となり得る。それは、直示の暴力的な側面とすることができる(Ortega1957, 金井2012参照)。

また、二人称名詞「あなた」は聞き手だけを指示範囲に収める。逆に言うと、「あなた」の指示範囲には聞き手の周辺の空間が含まれない。このような指し方を「直接的」ということにする。

(図1) 二人称名詞「あなた」による「直示的∧直接的」指示



(1)の「影村」は、下位者である「加藤」に「あなた」と言われたことを不愉快に思っている。その不愉快さは、「あなた」という二人称名詞が「直示的∧直接的」性質を有することに起因する。

2-2 指示詞(直示的∧間接的)

指示詞(そちら)によって聞き手を指す方法も、当該の指示行為によって初めて指示内容が決まるので、二人称名詞と同じく直示である。

(2)...突然、向うから、かっぱう着姿で小走りにやってくる山中良子に会った。

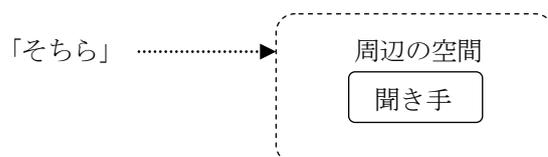
「あら、どうしたの?」

「そちらこそどうなさったんですか」

「私ね、今、勤めてるのよ」(太郎物語)

ただし、指示詞「そちら」の指示範囲は、聞き手を含む聞き手の周辺の空間であり、そこからメトニミー^{iv}によって、二次的に聞き手を指す。このような段階を経る指し方を「間接的」ということにする。

(図2) 指示詞「そちら」による「直示的∧間接的」指示



^{iv} メトニミーとは「<容器-中身>、<主体-付属物>、<全体-部分>、<作者-作品>といった、近接性のリンクによって関連づけられる存在の一方を言語化することにより、もう一方の存在を理解させる言語的な手段の一つ(山梨2000:111)」である。

指示詞「そちら」による「間接的」指示は、「人を人差し指で指すと失礼だが、広げた手のひら全体で指せば失礼でない」というアナロジーから、二人称名詞による「直接的」指示に比して失礼さを回避し得る、ということが分かる（ここでは「人差し指で指す」ことは二人称名詞に、「広げた手のひら全体で指す」ことは指示詞「そちら」に相当する）。すなわち「たとえ見かけ上であっても、選択の余地が多いほど失礼さを回避し得る」ということである。

金井（2003）によると、聞き手を指示する「そちら」には、2つの機能がある。1つは「彼我の分割」であり、これは「そ-」の部分が担う。このとき、話し手自身の領域が「こ-」であり、それに対立する聞き手の領域が「そ-」となる。そして、話し手と聞き手との対立が焦点化される。もう1つは「指示の限定性の緩和」であり、これは「-ちら」の部分が担う。「-ちら」は、聞き手という「局所」ではなく、聞き手のいる「方向」を漠然と指すからである。この2つの機能のうち、どちらが優位に活性化するかは、当該の場面・文脈によって決定される。

(2)の「そちら」においては、失礼さを回避するために、「指示の限定性の緩和」が優位に活性化するものと考えられる。もちろん「彼我の分割」も同時に機能するが、その効力は「指示の限定性の緩和」に比して無視できるほどに小さい^v。

2-3 固有名詞（記述的∧直接的）

聞き手の名前を知っていれば、「山本さん」などの固有名詞を用いることができる^{vi}。

(3)「山本さん^{vii}、長官として言えることじゃないかも知れませんが、山本さんは講和については、一体どう考えておられるんです?」（山本五十六）

固有名詞による指示は（二人称名詞・指示詞とは異なり）直示ではない。「山本さん」の指示内容は、指示行為によって初めて決まるのではなく、その前から言語外の事実として決まっているからである。このような指し方を「記述的」ということにする（田窪1997:16-17参照）。

記述的である場合、指示内容は既定であるため、指示行為によって勝手に対応づけられるという暴力的な側面を持たない。このことから「記述的」指示は、「直示的」指示に比して失礼さを回避し得る、ということが分かる。

ただし固有名詞「山本さん」は、「山本」本人だけを指示範囲に収める。このことは、二人称名詞による「直接的」性質と同様である。そこで、固有名詞による指示を「記述的∧直接的」ということにする。

（図3）固有名詞「山本さん」による「記述的∧直接的」指示



固有名詞による指示は、二人称名詞に比して（記述的である分）失礼さを回避し得る一方、次節で見る普通名詞に比しては（直接的である分）失礼さは強い、ということになる。

^v 異形態である「そっち」の場合、「そちら」に比して、「彼我の分割」機能に大きく偏る（金井2006参照）。

^{vi} 固有名詞は、その場面・文脈において最も自然であるような接尾辞が後接した形で1つと捉える。具体的には、接尾辞「さん」を後接させた形で扱う。

^{vii} 呼びかけの位置に現れるものは、本稿では考察の対象外とする。

2-4 普通名詞（記述的・間接的）

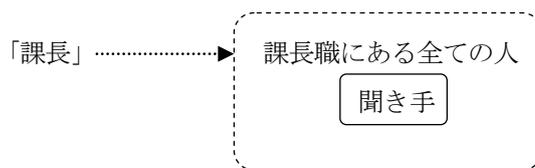
聞き手を社会的な身分・肩書などで指示する、という方法もある。例えば会社の上司である「高橋」を、部下は「高橋さん」とは言いづらく、「課長」などの肩書を用いる方が失礼さを回避し得る（もちろん会社の慣習などに左右されるが、そうした語用論的な変数は考えない）。

- (4) 「私が出張中だったのがまずかったのです。課長は去年山林課においでになったばかりなので、ナメられたんですよ。いま資材課の伝票で見ましたが、市価の三倍で買わされていらっしやいますね。むかしからあいつの図々しさは有名なものですよ」（パニック）

この場合も、指示行為に先立って指示内容が既定である（当該の職場において「課長」によって指せる人は決まっている）ことから、固有名詞と同じく「記述的」と言える。

ただし普通名詞「課長」は、意味的には「課長」職にある全ての人を指示範囲に収める。そして、あくまでも二次的に、（課長職にある全ての人の中の一人である）当該の「課長（聞き手）」を指す。これもメトニミーを介在させた段階を経る指し方であり、指示詞「そちら」と同じく「間接的」指示と言える。

（図4）普通名詞「課長」による「記述的・間接的」指示



普通名詞による指示は、間接的である分、固有名詞に比して失礼さを回避し得る。もし(4)の下線部が「高橋さん」のような固有名詞であれば、その「直接的」性質によって聞き手（課長）に対して失礼となり得る。

- (4) 高橋さんは去年山林課においでになったばかりなので、ナメられたんですよ。

このように、聞き手の肩書を知っていて、その肩書（を表す普通名詞）で指すことが無標である関係性において、あえて固有名詞を用いることは、丁寧さの観点から難しい。それは普通名詞が「間接的」であるのに対して、固有名詞が「直接的」だからである。

ところで、「高橋課長」のような「固有名詞+普通名詞」という形式も可能である。この場合は、前半の「固有名詞（高橋）」は指示対象を検索しやすくするためのマーカーとなり、あくまで主要部は後半の「普通名詞（課長）」であると考えられる（金井 2003 参照）。

2-5 非明示

以上、4つのタイプの二人称指示を見てきたが、そもそも何らかの語を用いることが失礼なのだから、何も言わなければ失礼さは生じ得ない。こうした考え方に基くのが「非明示」である。(5)の(φ)には、二人称名詞などが入り得る（ただし語用論的な可否は考慮しない）が、それらを拒否して「何も言わない」ことによって、失礼さを回避し得ている。

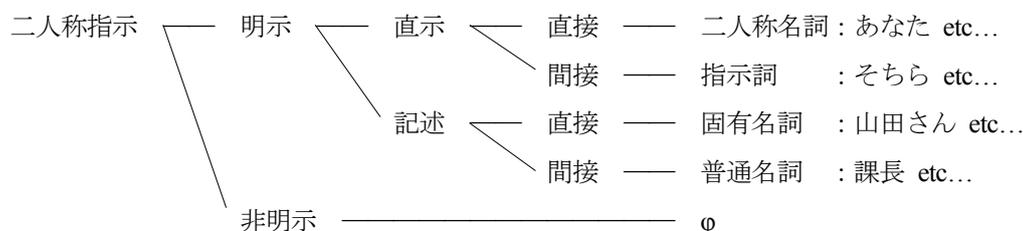
- (5) 「おいおい、与太をとばすのはやめろ! そんなことができるものか」
「できたら (φ) どうしますか?」
「逆立ちしてこのへんを歩いてみせる」
「では、ほんのしばらくおまちを……」(ブンとフン)

ただし、(5)では問題ないが、文脈によっては、何らかの語によって二人称（聞き手）を明示しないと、誰について言及しているのかが曖昧となり得る。したがってこの「非明示」は、それを可能にする程度の文脈的支えがあるときのみ成立可能と言える。ただし日本語は、その性質上、主語の省略における自由度が高い。

2-6 日本語における二人称指示の体系

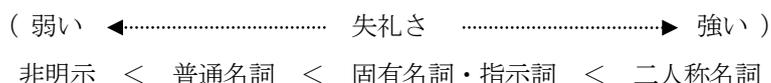
ここまで、日本語の二人称指示は「直示的か記述的か／直接的か間接的か」という基準によって、5つのタイプに分類されること、そして、それぞれが聞き手に対する失礼さの性質と程度を異にすることを見た。このことは、次のように図示される。

(図5) 失礼さから見た二人称指示の体系（金井2002より）



二人称（聞き手）に対する失礼さが強まる要因は「直示的／直接的」性質であり、反対に失礼さが弱まる要因は「記述的／間接的」性質である。これに従えば、二人称指示における各指示方法の失礼さの強弱は、次のように表せる。

(図6) 二人称指示における指示方法と、聞き手に対する失礼さの強弱



「直示的／直接的」であるとき（＝二人称名詞）、聞き手に対する失礼さは最も強い。一方、「記述的／間接的」であるとき（＝普通名詞）、聞き手に対する失礼さは最も弱い（ただし非明示を除く）。また、「直示的／間接的」であるとき（＝指示詞）、および「記述的／直接的」であるとき（＝固有名詞）は、この両者の中間に位置するわけだが、そのうちどちらがより失礼であるかということは、語用論的な問題であり、本稿では考察の対象外とする。

以上、他言語（中国語・韓国語）との対照分析の前提として、金井（2002）に基づき、失礼さという観点から見た日本語の二人称指示の体系を概観した。

3. 分析① 中国語における二人称指示

本章では、中国語における二人称指示について、日本語との対照という観点から検討していく。

3-1 二人称名詞

中国語の二人称名詞「你」は、日本語の「あなた」と同じく（聞き手が上位者であれば）聞き手に対して失礼となり得る。

(6) いったい あなた なぜ に 私 訊ねる そんな こと

究竟 你 为什么 对我 问 那 事

これは日本語と同じく、「直示的∧直接的」性質の持つ失礼さと考えられる。

ただし中国語には、「你」より丁寧度の高い「您」という二人称名詞が備わっている。この「您」であれば、上述の場面であっても失礼さを回避できる。

(6)' いったい あなた なぜ に 私 訊ねる そんな こと

究竟 您 为什么 对我 问 那 事

「您」は、「你」の複数形「你们」から生じたという（関2008参照）。このように、複数形を用いることによって失礼さを回避するという方略は、他言語にも広く見られる。

(7) 敬意の表現の一つの方法がその対象となる人物に対する直接的な指示を避けるということ（例えば、ヨーロッパの言語の二人称の表現によく見られる親しさを表わす単数形と敬意を表わす複数形の対立—フランス語の *tu* と *vous* など—もその一つの現われである）...（後略）...（池上1981:200）

なぜ複数形にすると失礼さを回避できるのだろうか。これも、先述の「人を人差し指で指すと失礼だが、広げた手のひら全体で指せば失礼でない」というアナロジーで説明できる（単数形が「人差し指で指す」ことに、複数形が「広げた手のひら全体で指す」ことに相当する）。すなわち、2-2で述べた「たとえ見かけ上であっても、選択の余地が多いほど失礼さを回避し得る」という原則が、この場合にも当てはまるわけである。したがって「您」は、二人称名詞ではあるが、その指し方は日本語の指示詞（そちら）と同じく「直示的∧間接的」と言える。

一方、日本語には「あなた」より丁寧度の高い（複数形に由来する）二人称名詞は見当たらない。語構成的に言えば、例えば「貴様」は、最高度の丁寧さを表せそうに思えるが、言うまでもなく、現代においてはそうではない^{viii}。

^{viii} 『日本国語大辞典 第二版 第四巻』によると、「貴様」は「中世末から近世初期頃にかけて発生した当初は、もっぱら武家の書簡でかなりの敬意をもって用いられた。しかし、その後口頭語化して、一般庶民にも用いられるようになるに従って次第に敬意を失い、明和・安永期（1764-81）には、軽い敬意を保ったにすぎず、文化・文政期（1804-30）には完全に対等の者に対する語となった。天保期（1830-44）に至ると、もっぱら目下の者に対して用いられるようになり、ののしりことばへと下落した。このように時代が下るに従って使用者層も下降の一端をたどり、近世末には上流社会では用いられなくなり、ぞんざいな語、もしくは目下に対する卑称の代名詞として用いられ現代に至っている」という。本稿で論じている「あなた」が、現代においては上位者を指すことが、丁寧さの観点から難しくなっていることも、この「敬意遞減の法則」によると考えられる。

3-2 指示詞

「そちら」に相当する「那边」は、形態論的な機能として、純粹に「方向」を指すのみである。つまり、日本語のように指示詞だけで「人（聞き手）」を指せる、というわけではない。

(8) そちらこそ どうなされたんですか。

*那边 才 怎么了?

あえて「那」を用いるとすれば「你那边」という形をとる。これは「那边（そちら）の（あなた）」と逐語訳される。ただしこのときの主要部は「你」であるから、これは指示詞ではなく、二人称名詞のバリエントと言える。

(9) そちらのあなた ある いくら お金?

你那边 有 多少 钱?

また、この(9)における「那」は、実は「聞き手の領域を指すソ」に対応するのではない。

日本語の指示詞体系はコソアの3系列であり、そのうちの「中称のソ系」が言わば「聞き手称」を兼ねている。Fillmore (1982) によれば、3系列の指示詞体系における中称が聞き手（の領域）を指すのは、プロトタイプ的である。日本語における「聞き手の領域を指すソ」も、その例に漏れない。

(10) Demonstratives ... may have a two-step or a three-step distance contrast. The two contrasting systems were represented as

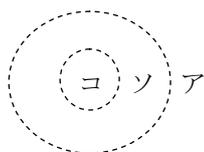
[+Proximal]:[-Proximal]

[Proximal]:[Medial]:[Distal]

The Medial category in a three-step system has 'short distance from Speaker' and 'close to Hearer' as the two elements of its semantic prototype. (Fillmore1982:55)

一方、中国語の指示詞体系は2系列で、近称の「这」と非近称（遠称）の「那」から成り立つ。2系列の指示詞体系には、中称が存在しない。したがって現場指示の「距離区分型」では、「ソ<那」という関係が成立する（遠称の那はソとアの領域をカバーする）。

(図7) 距離区分型（日本語）



距離区分型（中国語）



このように、2系列の指示詞体系である中国語においても「距離区分型」は（当然）成立する。一方、「人称区分型」は、そうではない。

(図8) 人称区分型 (日本語) *人称区分型 (中国語)



Fillmore (1982:55) が述べるように、人称区分型における聞き手の領域は、3系列の中称が担う。したがって2系列の中国語の指示詞体系には、そもそも中称が存在しないのだから、日本語と同じ意味での人称区分型は成立しないのである。このことに関連して、木村 (1992) は次のような例を挙げている。

(11) (話し手が至近距離にいる彦市の持ち物を指して)

(日) 彦市どん、そら何な?

(中) 彦市、你那是什么呀? (同189)

なぜ、聞き手である「彦市」の持ち物を遠称の「那」で指すのか。木村 (1992) は、次のように説明する。

(12) もとより、対象の正体が明らかでないうえに、それが相手の領域に属するものであるという認識が重なり、そこに心理的な疎外感が生じて、遠称による指示が促されたということだろう。(同189)

(13) 指示詞の選択を決定するのは、自分と対象との間に感じられる物理的・心理的な遠近感であって、相手の存在は、この遠近の認識に影響を与える一要因であるにすぎない。その意味で、中国語の指示詞の運用はあくまでも自己中心的であると言えるだろう。(同191)

以上を鑑みると、(9)の「你那边」に含まれる「那」は、ソ系のような聞き手称ではなく、非近称 (遠称) の指示詞である、ということが分かる。

また、(8)の「那边」を「你那边」に置き換えても、非文法的なままとなる。

(8)' そちらの あなたこそ どうなさったんですか。

*你那边 才 怎么了?

それは(8)'においては、(9)とは異なり、話し手にとって、非近称 (遠称) を選択するほどには物理的・心理的な疎外感が感じられないため、と考えられる。

以上をまとめると、中国語の指示詞による二人称指示は、指示詞だけでは「聞き手 (人)」を指せないという点からも (=8)、「那」は聞き手称ではないという点からも (=8') 成立しない、ということである。

3-3 固有名詞

日本語の接尾辞「さん」は、中国語では男性への「先生」、女性への「女士」、年下への「小～」、年上への「老～」などが相当する (逆に言うと、日本語の「さん」のカバーする範囲は広いわけである)。本稿では便宜的に「先生」を代表として扱う。日本語と同じく、固有名詞 (+先生) は、二人称名詞「你」より (記述的である分) 失礼さを回避し得る。

(14) 山本さん については 講和 一体 どう 考えておられるんです?

山本先生 对 讲和 到底 怎么 想?

もし「先生」がなくて「山本」だけ（呼び捨て）であれば、日本語と同じく、それは失礼となり得る。

3-4 普通名詞

普通名詞（課長）は、失礼さを回避し得る。それは日本語と同じく、普通名詞（課長）が「記述的・間接的」性質を有するからだろう。

(15) ので 課長 去年 たばかり おいでになった 山林課, され なめ た

因为 課長 去年 刚 来到了 山林課, 所以 被 小看 了

(15)においては、聞き手の肩書が分かっている、それをういて指すことが無標である関係性であれば、下線部を二人称名詞「你」や固有名詞「高橋先生」に置き換えると、その「直接的」性質によって失礼となり得る。そのような場合は、「間接的」な二人称名詞「您」や原文のように普通名詞（課長）を用いなければ、失礼さを回避し得ないのである^{ix}。

3-5 非明示

中国語においては、日本語ほど、主語の省略が自由ではない。したがって、(16)のような主語を省略した言い方は「誰が?」が不明瞭であるという点で意図が伝わりにくく、(16)'のように二人称の「你」を（一人称の「我」も）明示した方が、意図が伝わりやすい無標の表現となる。

(16) もし でき たら どうする か?

? 如果 能做 的话, 怎么办 呢?

(16)' もし 私 でき たら あなた どうする か?

如果 我 能做 的话, 你 怎么办 呢?

ただし、(16)''のように「我」を表出していれば、聞き手を同定できるので、「你」の省略は許容される。

(16)'' もし 私 でき たら (φ) どうする か?

如果 我 能做 的话, (φ) 怎么办 呢?

^{ix} ただし「您好（こんにちは）」は失礼となり得る。そもそも「你好／您好」は、距離のある関係性で用いられるものである。距離のない関係性では、肩書とともに「課長您好」、もしくは肩書のみで「課長好」、あるいは「ご飯を食べましたか?」「最近元気ですか?」といった挨拶が無標である。

聞き手「非明示」の(16)⁹は、聞き手を明示する(16)⁷に比して、失礼さを回避し得る。このように「非明示」という方略は中国語でも有効だが、主語の省略の自由度が（日本語に比して）低い中国語では、その成立条件は厳しいと考えられる。つまり(16)⁹から分かるように、会話参与者である話し手と聞き手のうち、どちらかが明示されていなければならない。このことは、日本語（や次章で検討する韓国語）では「どちらも非明示」が可能となることと、対照的と言える。

4. 分析② 韓国語における二人称指示

本章では、韓国語の二人称指示について、日本語との対照という観点から検討していく。

4-1 二人称名詞

韓国語においても、日本語と同じく、二人称名詞は聞き手に対して失礼となり得る。

(17) いったい, あなたは なぜ 私に そんな ことを 訊ねるんです
도대체 당신은 왜 내게 그런 일을 묻는것입니까

それは日本語と同じく、「直示的/直接的」性質を有するからだろう。また、韓国語にも（中国語の「您」のような）複数形に由来する丁寧度の高い二人称名詞は存在しない。

4-2 指示詞

韓国語は日本語と同じく3系列であり、そのうちの中称（ユ系）が聞き手称となる。すなわち韓国語の指示詞体系も、Fillmore（1982:55）のいうプロトタイプの例に漏れない。また、指示詞だけで聞き手を指せるという点も、日本語と同様である。

(18) そちら こそ どう なさったんですか
그쪽 이야말로 웬 일이십니까

「그쪽」は「ユ=そ」「쪽=ちら」という形態素から構成され、2-2で言及した「そちら」の2つの機能についての議論は「그쪽」にも当てはまる。したがって、(18)の「그쪽（そちら）」においても「指示の限定性の緩和」によって、二人称名詞「당신（あなた）」に比して失礼さを回避し得る。

4-3 固有名詞

韓国語の固有名詞は、それ自体は（日本語と同じく）失礼さを生じるものではない。

(19) 山本さんは 講和については 一体 どう 考えて おられるんです?
야마모토씨는 강화에 대해서는 도대체 어떻게 생각하고 계시는것입니까?

ただし、韓国語では「苗字+씨」（씨는「さん」に相当）という形式が失礼となり得る^x。趙義成（朝鮮語研究室>漢陽趙氏>朝鮮人の姓名）によると、「この呼び方は、むかし奴婢や小間使いに対して呼んだ呼び方と

^x 「씨（さん）」より丁寧度の高い「님（様）」であっても、「苗字+님」という形式は失礼となり得る（ただし、あまり使われる形式ではない）。

され、相手に対して極めて不快感を与える」という（筆者の語感では「山本とかいう人」「下の名前を覚える気がない」といった印象である）。したがって(19)の下線部は、聞き手に対して極めて失礼となり得る。

韓国語では、親しい関係性であれば「타로씨 (太郎さん)」のように「下の名前+씨」, 親しい関係性でなければ「아마모토타로씨 (山本太郎さん)」のように「フルネーム+씨」としなければ、失礼さを回避し得ないのである。

(19)' 山本太郎さんは 講和については 一体 どう 考えて おられるんです?
아마모토타로씨는 강화에 대해서는 도대체 어떻게 생각하고 계시는것입니까?

ただし聞き手の肩書を知っていて、それを用いることが無標である関係性においては、「フルネーム+씨」であっても失礼（かつ不自然）となり得る（日本語でも、肩書を用いて指すことが無標である聞き手を、急に「山本さん」のように固有名詞で指すことは、丁寧さの観点から難しい。2-4参照）。そのようなときには次節の「普通名詞+님（様）」を用いなければ、失礼さを回避し得ない。

また、聞き手の肩書が分からないときは、「~선생님（先生様）」と言うと失礼さを回避し得る。これには「教師」の意味は入っていない（ただし「~선생（先生）」だけだと「教師」の意味となる）^{xi}。中国語の「~先生」は男性への敬称としてのみ用いられるが、韓国語の「~선생님」は性別を問わずに用いることができる。

4-4 普通名詞

韓国語の普通名詞は、それ自体は（日本語と同じく）失礼さを生じるものではない。次の(20)の普通名詞「과장（課長）」は、二人称名詞「당신（あなた）」に比して、失礼さを回避し得る。それは日本語と同じく、「記述的・間接的」性質を有するからだろう。

(20) 課長は 去年 山林課に おいでになった ばかり なので なめられたんですよ。
과장은 작년 산림과에 오신지 얼마 안됐기 때문에 만만하게 보였던것이에요.

ただし韓国語の場合、普通名詞によって（直示的あるいは直接的な性質の）失礼さを回避するだけでは十分ではなく、さらに積極的に敬意を表さなければならない。

(20)' 課長様は 去年 山林課に おいでになった ばかり なので なめられたんですよ。
과장님은 작년 산림과에 오신지 얼마 안됐기 때문에 만만하게 보였던것이에요.

(20)の下線部では敬意が足りないので、例えば接尾辞「님（様）」を付けて、(20)'のように「과장님（課長様）」とする必要がある。そうして初めて、聞き手に対する失礼さを十全に回避し得るのである（またこのときは「다카하시과장님（高橋課長様）」のように「苗字+과장님」であっても失礼とならない。それは先に見た「~선생님（先生様）」と同じく、「普通名詞」の「과장（課長）」が主要部であるから、と考えられる。2-4, 注x参照）。

^{xi} 「씨（さん）」「님（様）」とは異なり、「苗字+선생님（~先生様）」という形式でも、失礼とならない。これは「선생님」における「선생」は、「教師」の意味こそ含まれないものの、形式的には「普通名詞」であり、その普通名詞「선생」が主要部となるから、と考えられる（2-4参照）。

つまり、日本語の普通名詞「課長」は肩書を表すとともに、そこには敬意が込められているが、韓国語の普通名詞「과장 (課長)」は肩書を表すのみで、そこには敬意が込められていない^{xii}。そのような理由で、普通名詞に加えて、さらに「님 (様)」などの敬称 (接尾辞) を必要とするのだと考えられる。

4.5 非明示

韓国語も日本語と同じく、主語の省略が (中国語に比して) 自由な言語である。したがって、(21)のような発話は、問題なく成立する。

- (21) できたら (φ) どう しますか?
할수있다면 (φ) 어떻게 하겠습니까?

韓国語においても、上記の (φ) には二人称名詞などを挿入可能だが、仮に挿入した場合、それはより失礼となり得る。この点においても、日本語と同様である。

5. まとめ

本稿では日中韓における二人称指示について、二人称名詞・指示詞・固有名詞・普通名詞・非明示という5分類に基づいて、失礼さという観点から対照分析を試みた。その結果は、表1のように示される。

(表1) 二人称指示における日中韓の対照分析

	日本語	中国語	韓国語
二人称名詞	<u>あなた</u>	<u>你, 您</u> 「你」は日本語と同じく失礼となり得る。 複数形に由来する「您」は失礼ではない。	<u>당신</u> 日本語と同じく、失礼となり得る。
指示詞	<u>そちら</u>	(対応なし) ただし心理的・空間的な対立が顕著な場合のみ、遠称として「你那边」で指せる。	<u>그쪽</u> 日本語と同じく、失礼さを回避し得る。
固有名詞	<u>山本さん</u>	<u>山本先生, ~女士, 小~, 老~</u> 接尾辞は複数あり、日本語の「さん」ほど汎用的なものはない。	<u>야마모토씨</u> 「苗字+씨」は極めて失礼となる。「フルネーム+씨」であれば、問題ない。
普通名詞	<u>課長</u>	<u>课长</u> 日本語と同じく、失礼さを回避し得る。	<u>과장</u> 普通名詞だけでは失礼さを回避し得ず、「과장님 (~様)」とする必要がある。
非明示	(φ)	(φ) 失礼さを回避し得るが、主語の省略の自由度が低い中国語では、成立条件が厳しい。	(φ) 日本語と同じく、失礼さを回避し得る。

^{xii} 教師を意味する「선생 (先生)」であっても、例えば学生が教師に対して「다나카선생 (田中先生)」と言うことは失礼となり得る (先輩教師が後輩教師の田中に対して言うのであれば問題ない)。つまり、学生は教師に対して「다나카선생님 (田中先生様)」と言わなければならない。

日中韓の指示詞体系の対照分析にあたって、「直示的か記述的か／直接的か間接的か」という基準によって分類された各指示方法は、それぞれにおいて多くの共通点を有する，ということを見出せた。と同時に，そこに存在するいくつかの相違点（ずれ）についても指摘し得たと思われる。本稿の分析は総論的なものであったが，今後は各論的かつ詳細な分析にも進んでいきたい。

参考文献

1. 池上嘉彦（1981）『「する」と「なる」の言語学』大修館書店
2. 金井勇人（2002）「失礼さという観点から見た二人称指示の体系」『早稲田大学大学院 文学研究科紀要（第3分冊）』48, pp.83-91
3. 金井勇人（2003）「普通名詞による二人称指示－間接化というストラテジー－」『国語学 研究と資料』pp.13-23, 早稲田大学 国語学 研究と資料の会
4. 金井勇人（2003）「二人称指示における指示詞「そちら」についての考察－二人称名詞「あなた」との対照を通して－」『一橋大学留学生センター紀要』6, pp.53-62
5. 金井勇人（2006）「指示語「そちら」「そっち」の相違点について－一人称指示を事例に－」『日本語教育』129, pp.21-30, 日本語教育学会
6. 金井勇人（2012）「Ortega による二人称(代)名詞の考察について」『埼玉大学国際交流センター紀要』6, pp.25-31
7. 木村英樹（1992）「中国語指示詞の「遠近」対立について－「コソア」との対照を兼ねて－」『日本語と中国語の対照研究論文集（上）』くろしお出版, pp.181-211
8. 金水敏（1999）「日本語の指示詞における直示用法と非直示用法の関係について」『自然言語処理』6-4, pp.67-91, 言語処理学会
9. 関光世（2008）「二人称代詞“你”と“您”の使い分けについて」『京都産業大学論集』38, pp.82-101
10. 田窪行則（1997）「日本語の人称表現」『視点と言語行動』pp.13-44, くろしお出版
11. 趙義成「趙義成の朝鮮語研究室」東京外国語大学大学院 総合国際学研究院 趙義成研究室
<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/choes/index.html>（最終アクセス：2021.01.21）
12. 日本国語大辞典 第二版 編集委員会（2001）『日本国語大辞典 第二版 第四巻』小学館
13. 山梨正明（2000）『認知言語学原理』くろしお出版
14. Fillmore, Charles J. (1982) *Towards a Descriptive Framework for Spatial Deixis*, Robert J.Jarvella and Wolfgang Klein (eds.) *Speech, Place, and Action: Studies in Deixis and Related Topics*, pp.31-59, John Wiley & Sons Ltd.
15. Ortega y Gasset, José (1957) *El hombre y la gente*, Alianza. (Mataix, Anselmo・佐々木孝訳 (1989)『個人と社会：人と人びと』白水社)

引用資料

1. 阿川弘之『山本五十六』新潮文庫
2. 井上ひさし『ブンとフン』新潮文庫
3. 開高健『パニック』新潮文庫
4. 曾野綾子『太郎物語』新潮文庫
5. 新田次郎『孤高の人』新潮文庫

本稿は科学研究費補助金（2018 年度～2020 年度，基盤研究（C），「逐語訳つき日本語作文コーパスによる意図と産出の対応を意識した日中韓の対照分析」研究課題番号：18K00678，研究代表者：金井勇人）による研究成果の一部である。